



SINCE 1990

廃棄物学会 東海・北陸支部 会報

No.4 廃棄物学会 東海・北陸支部

まずは情報のネットワークづくりから

支部長 伊藤 秀章

廃棄物学会の東海・北陸支部が設立されてから一年近くになろうとしています。その設立趣旨に唱われていますように、この東海・北陸地域において「産業廃棄物や生物系廃棄物を資源循環させて、生産活動や自然環境に返していくためのネットワークづくり」の重要性が増大しており、支部は廃棄物学の学術的立場から、この地域における資源循環型社会の形成に貢献することを目的としています。

しかし、この大きな社会的目標を達成するためには、狭い学問分野にとどまった個別的な研究活動の推進のみでは不十分であり、異なる分野の研究者・技術者や循環型社会の形成に関心のある多くの地域住民・市民・行政関係者の協力が必要であることは言うまでもありません。廃棄物学会が、先鋭的な専門家集団のみから構成されるいわゆる「学者の集まりの学会」とは異なるゆえんがそこにあります。

廃棄物学会は設立の当初から、このことを深く認識しており、「市民がつくるごみ読本」C & Gの発行や市民部会の活動を積極的に支援するとともに、昨年から登録団体市民会員の制度を取り入れ、地域の活動に関わる一般市民も会員として自由に学会の活動に参加することができるようになりました。

東海・北陸支部では、最も大きなイベントとして、毎年市民フォーラムを開催し、「都市ごみの減量化をめぐる市民フォーラム」（平成13年）、「生ごみの減量化に挑む」（平成15年）、そして今回は3頁の案内のように「いま、改めてリサイクルを問い直す」を開催してきています。また、今年はじめての試みとして、2月に廃プラスチック・リサイクル工場の見学会（4頁参照）を予定しており、今後も企業・自治体における廃棄物処理の実態をつぶさに視察することを企画しています。多くの会員のかたが積極的に参加されますよう期待しています。

ご存じのように東海・北陸支部は、新潟、富山、石川、福井、長野、静岡、愛知、三重、岐阜と9県にわたる広範囲の地域に及んでおり、平成16年1月現在で正会員300名余り、学生会員約30名、公益会員17団体、賛助会員13社、登録団体市民会員2名、合計373名／団体という比較的大きな支部となっています。そのなかで、会報の発行は現在の支部財政のもとでは回数に限度があり、会員の情報交換をスムーズにおこなうことは至難のわざと言えます。そこで、支部のホームページを立ち上げて、そこに各種行事の案内や研究紹介などを掲載し会員相互のコミュニケーションを図ろうとしています。また、支部事務局から会員の皆様に直接メールをお届けするためにメーリングリストを作成することも考えています。

今後は、ときどきホームページを閲覧して頂くとともに、5頁の“おねがい”にありますように、皆様の電子メールアドレスをぜひ登録して頂きますようお願いいたします。このようにして、まずは支部の情報ネットワークをつくりあげ、徐々にではありますが支部活動の体制を整えていきたいと願っています。

現状では、支部の行事は会員の多い名古屋市や愛知県に偏りがちですが、地域における廃棄物問題の解決のためにも、今後は各地で講演会、見学会、フォーラム、シンポジウムなどを企画して頂き、それを支部がお手伝いするようにしたいと思います。



会 告

平成 16 年 2 月 9 日

廃棄物学会東海・北陸支部
正会員 各位

支部長 伊藤 秀章

廃棄物学会東海・北陸支部 平成 15 年度定期総会開催のお知らせ

拝啓 向春の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、廃棄物学会東海・北陸支部が昨年 2 月 22 日に設立されてから、早くも 1 年が経とうとしています。このたび、支部内規に従いまして、下記のように 3 月 13 日(土)、愛知県産業貿易館において、平成 15 年度定期総会を開催致します。当日は同封資料にありますように、恒例の市民フォーラムを同日開催致しますので、会員の皆様におかれましてはお誘い合わせのうえ、ご出席頂きますようご案内申し上げます。支部総会には定足数（支部正会員の 1/5）がございますので、当日ご出席できないかたは恐れ入りますが参加申込票の下部にあります委任状をファックスにてご提出頂きますようお願い致します。

敬具

記

日 時：平成 16 年 3 月 13 日(土)16:15～17:00

場 所：愛知県産業貿易館 9 階第 3 会議室

名古屋市中区丸の内 3-1-6（TEL 052-231-6351）

議 題：1. 平成 15 年度事業報告案

2. 平成 15 年度決算報告案

3. 平成 16 年度事業計画案

4. 平成 16 年度予算案

5. その他

ご 案 内

平成 15 年度廃棄物学会東海・北陸支部

市民フォーラム・総会のご案内

日 時：平成 16 年 3 月 13 日(土)10:00～17:00

会 場：愛知県産業貿易館西館 9 階第 3 会議室 (TEL 052-231-6351)

名古屋市中区丸の内 3-1-6 (http://www.aibsc.jp/sanbo/sanbo_map.html)

主 催：廃棄物学会東海・北陸支部

趣 旨：容器包装リサイクル法、家電リサイクル法、自動車リサイクル法の施行に伴い、廃棄されたプラスチックや金属類のリサイクルが必要となり、各種のリサイクル方法が提案されています。そのなかで、市民は環境への負荷を低減できるリサイクル方法について改めて選択を迫られています。廃棄物学会東海・北陸支部では、昨年の市民フォーラム「生ごみの減量化に挑む」に続いて、「いま、改めてリサイクルを問い直す」を開催します。市民・行政・企業・研究者からの取り組みについて話題提供と討論をおこないます。リサイクルに関心をもつ多くの市民・学生・関係者の参加をお待ちしています。

プログラム：

1) 市民フォーラム (10:00～16:15)

テーマ 『いま、改めてリサイクルを問い直す』

◇ 話題提供：

10:00～10:45 「市民が担うリサイクルとリサイクル経済のこの頃」

浅井 直樹 氏 (中部リサイクル運動市民の会)

10:45～11:30 「名古屋市の資源化事業の概要ーリサイクルコストを中心に」

平林 修 氏 (名古屋市環境局)

(昼食・休憩)

13:00～13:45 「プラスチック資源ごみの中間処理ー現状と課題」

栗林 信夫 氏 (名古屋プラスチック・ハンドリング(株))

13:45～14:30 「鉱山・製錬業を原点とする環境事業者の立場から」

仲 雅之 氏 (同和鉱業(株))

14:30～15:15 「持続型社会をめざす物質循環」

藤江 幸一 氏 (豊橋技術科学大学)

◇ パネル討論：15:20～16:15

2) 総 会 (16:15～17:00)

3) 懇親会 (17:00～19:00) アイリス愛知

※ 昼食時間 (11:30～12:30) に常議員会を開催 [本館 4 階第 3 会議室]

会 費：廃棄物学会正会員・登録団体市民会員 1000 円、学生 500 円、その他 1500 円

(当日、受付でお支払い下さい。懇親会会費は別途 5000 円)

申込方法：E-mail またはファックスで、市民フォーラム・総会及び懇親会の出欠と連絡先を明記のうえ、3 月 5 日(金)までに下記宛お申し込み下さい。

申込先：〒464-8603 名古屋市千種区不老町名古屋大学難処理人工物研究センター

廃棄物学会・東海北陸支部事務局 川島園美

TEL 052-789-5851, FAX 052-789-5849, E-mail: son@rescwe.nagoya-u.ac.jp

平成 15 年度 廃棄物学会 東海・北陸支部
廃プラリサイクル工場見学会のご案内

[日時] 平成 16 年 2 月 24 日 (火)

[会場] 新日鐵(株)名古屋製鐵所 〒476-8686 東海市東海町 5-3

[会費] 廃棄物学会正会員及び登録団体系市民会員 2,000 円、学生 1,000 円、一般 3,000 円
 (当日、受付にてお支払い下さい)

[集合] 12 時 45 分、名鉄常滑線「新日鐵前」駅前 ゲストホール (下図ご参照下さい)

[交通] 名鉄常滑線「新日鐵前」駅下車、ゲストホールよりバスで工場前へ移動

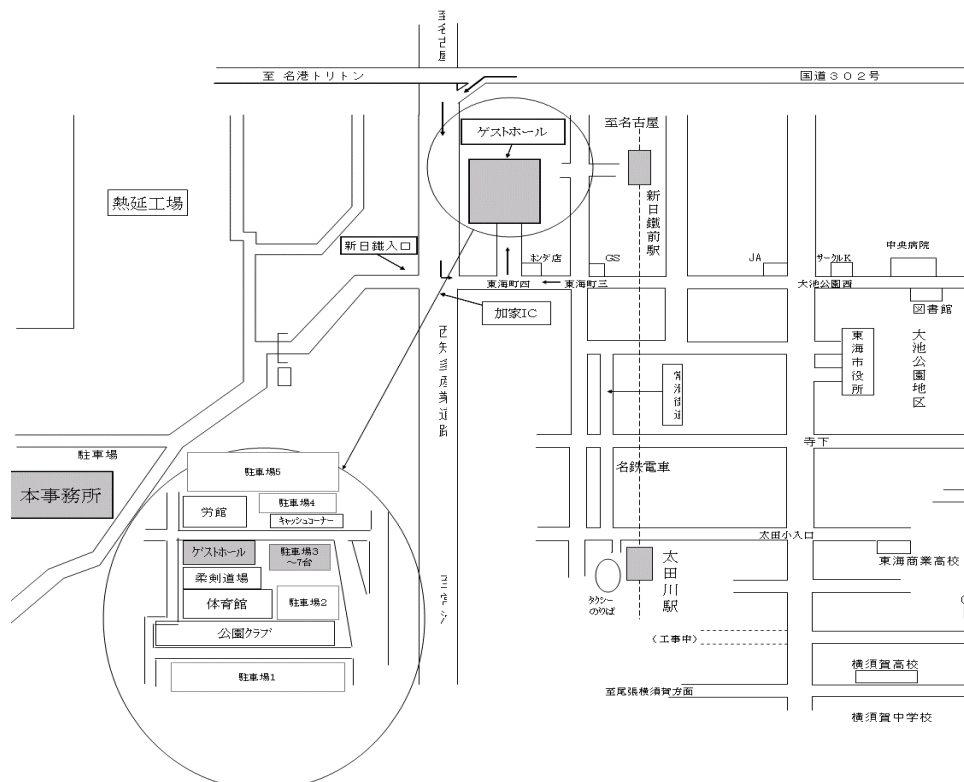
名鉄電車の時刻表

「新名古屋」	「金山」	「新日鐵前」
11:57 →	12:02 →	12:25
	12:11 (金山発) →	12:38
12:27 →	12:32 →	12:52

[見学内容] 廃プラスチックリサイクル工場の見学

[プログラム]	13:00~13:10	支部長挨拶、スケジュール説明、
	13:10~14:15	製鐵所概要 VTR、概要説明
	14:15~14:45	講演 名古屋市環境局 松葉基司 氏
	15:00~15:45	廃プラリサイクル工場見学
	16:00~16:30	質疑応答
	16:35	解散

名古屋製鐵所ゲストホールご案内図



*名古屋高速・大高 IC 知多半島道路・大府東海 IC より それぞれ約 6~7 km です。

*お車でのご来場はなるべくご遠慮ください。

おねがい

(1) 支部ホームページの閲覧について

廃棄物学会東海・北陸支部では、支部の主催・共催・協賛行事を広く会員の皆様に知って頂くために、また会員の皆様の情報交換や意見交換の場をつくるために、下記の URL においてホームページ（HP）を開いています。ぜひ皆様の“お気に入り”の Website に登録していただき、ときどき閲覧して頂きますようご案内致します。

<http://www.rescwe.nagoya-u.ac.jp/haikibutu/index.htm>

このなかには『東海・北陸地区の研究紹介』のページがあり、大学、民間企業、公的研究機関の研究内容、事業内容やスタッフの紹介を順次増やして、充実した内容にしていく予定です。皆様ご自身の研究グループや事業内容の紹介や PR にもぜひご利用ください。また、皆様の周辺における各種行事の掲示板としてご利用頂くこともできます。ホームページに関するお問い合わせやご相談は、haikibutu@rescwe.nagoya-u.ac.jp までお願いします。

(2) メーリングリスト作成について

東海・北陸支部は、新潟、富山、石川、福井、長野、静岡、愛知、三重、岐阜の 9 県にわたる広範囲な支部であり、会員数も約 350 名と多いために、会員の皆様へ会報や印刷物を郵送することは、支部の財政上難しい状況にあります。そこで、上記の HP をご覧になって頂きたくお願い致しますが、支部事務局から直接 E-mail 配信をさせて頂くために、ご希望のかたのメーリングリストを作成する予定です。

つきましては、あなたの E-メールアドレスを同封の「市民フォーラム・総会・懇親会申込書」の E-mail 欄にご記入ください。今後支部から重要な情報や行事案内などをお知らせ致します。もちろん、メーリングリストは一般のかたには公開せず、支部からは BCC で配信致します。

(3) 支部ホームページの研究紹介欄への投稿について

上記のように廃棄物学会支部のホームページを充実するために、支部所属会員の研究グループ毎の研究紹介欄を開設しています。つきましては、会員の皆様が所属する研究グループの紹介記事を順次掲載していきたいと思っておりますので、これらを参考にして頂き、大学・企業・公的研究機関の会員を問わず掲載原稿を事務局までお送り下さい。企業の場合は事業内容の PR を含めて頂いても結構です。グループの単位もあまり厳密に考えずに、差し支えない範囲で考え頂きたいと思っております。

原稿の記載様式をご希望のかたは事務局までご請求ください。

平成 15 年度廃棄物学会東海・北陸支部 役員名簿

[五十音順]

	(氏 名)	(所 属)	(県)
支部長	伊藤 秀章	名古屋大学難処理人工物研究センター	愛知
副支部長	辻 喜礦	中日本タスク(株)	愛知
幹事(庶務)	稲垣 順一	三重県科学技術振興センター	三重
幹事(庶務)	松葉 基司	名古屋市環境局	愛知
幹事(会計)	二宮 善彦	中部大学工学部	愛知
幹事(会計)	堀内 将人	大同工業大学都市環境デザイン学科	愛知
幹事(渉外)	戸谷 満	玉野総合コンサルタント(株)	愛知
幹事(渉外)	松田 仁樹	名古屋大学難処理人工物研究センター	愛知
幹事(広報)	鈴木 憲司	産業技術総合研究所中部センター	愛知
幹事(広報)	高見澤 一裕	岐阜大学農学部	岐阜
幹事(企画)	木曾 祥秋	豊橋技術科学大学エコロジー工学系	愛知
幹事(企画)	萩原 喜之	中部リサイクル運動市民の会	愛知
幹事(企画)	広瀬 幸雄	名古屋大学環境学研究科	愛知
幹事(企画)	吉田 修一	日本ガイシ(株)	愛知
監査役	藤江 幸一	豊橋技術科学大学エコロジー工学系	愛知
常議員	浅井 信義	(株)マキノ	愛知
常議員	片山 新太	名古屋大学難処理人工物研究センター	愛知
常議員	川合 和之	(株) I N A X	愛知
常議員	近藤 元博	トヨタ自動車(株)	愛知
常議員	志村 進	大同特殊鋼(株)	愛知
常議員	下郷 正人	(株)創建環境エンジニアーズ	愛知
常議員	高木 元明	中部電力(株)	愛知
常議員	谷口 陽	環境開発(株)	石川
常議員	土橋 弘	土橋技術士事務所	静岡
常議員	中崎 清彦	静岡大学工学部	静岡
常議員	中田 真一	富山市役所	富山
常議員	中村 正秋	名古屋大学工学研究科	愛知
常議員	原口 紘	名古屋大学工学研究科	愛知
常議員	原田 秀樹	長岡技術科学大学環境システム工学系	新潟
常議員	福田 正	(株)三進製作所	愛知
常議員	藤澤 敏治	名古屋大学難処理人工物研究センター	愛知
常議員	藤間 幸久	(元)名古屋大学理工科学総合研究センター	愛知
常議員	細井 要一	長野県衛生公害研究所	長野
常議員	松井 勲	中日本建設コンサルタント(株)	愛知
常議員	松浦 次雄	福井県工業技術センター	福井
常議員	松田 智	静岡大学工学部	静岡
常議員	柳下 正治	名古屋大学環境学研究科	愛知

協賛行事・会務報告

岐阜大学環境保全システム研究会例会

廃棄物学会バイオマス系廃棄物研究部会協賛

廃棄物学会東海・北陸支部協賛

日時：平成16年3月10日 13:30から

場所：岐阜大学農学部102講義室

プログラム：

13:30～14:30

「工学屋から見たコンポスト化プロセス」

静岡大学工学部教授 中崎清彦

14:30～15:00 質疑応答

15:00～15:30 休憩

15:30～16:30

「微生物屋からみたゴミ固形燃料RDF」

三重大学生物資源学部教授 大宮邦夫

16:30～17:00 質疑応答

17:00～17:30 総合討論

参加費：

岐阜大学環境保全システム研究会会員、廃棄物学会バイオマス系廃棄物研究部会会員、廃棄物学会東海・北陸支部会員 500円

その他一般 1000円

連絡先：

高見澤一裕（岐阜大学農学部教授、生物資源利用学科生物反応工学講座、微生物工学研究室）

〒501-1193 岐阜市柳戸1の1

Tel & Fax: 058-293-2906

E-mail: tak2003@cc.gifu-u.ac.jp

平成 15 年度会務報告

- ◇ 第2回常議員会（6月25日、名古屋大学）
本支部の運営にあたって、内規に定められていない事項（常議員会、幹事会のルールや事務局の運営、等）についての申し合わせを協議した。支部長からの幹事の指名があり、役割分担は幹事会に一任した。平成15年度事業計画及び予算の具体案を検討し、見学会、

市民フォーラム、講習会、ホームページの充実について意見交換をおこなった。

- ◇ 第1回幹事会（6月25日、名古屋大学）
平成15年度の幹事役割分担をおこなった。市民フォーラム、見学会の性格づけについて協議した。監査役の選任をおこなった。

- ◇ 第2回幹事会（11月13日、名古屋大学）
見学会案の概要を承認した。市民フォーラム・総会を3月13日に開催すること、フォーラムのテーマは「リサイクルを見直す」内容とすることを決定した。講習会は次年度前半に開催するが、準備は15年度に進めることにした。本部提出の平成16年度事業計画案及び予算案を検討した。HP及び会報等の広報活動について意見交換をおこなった。

- ◇ 第3回幹事会（12月16日、名古屋大学）
2月24日の廃プラリサイクル工場（新日鐵名古屋製鐵所）見学会案を承認した。市民フォーラム・総会のプログラム及びスケジュールについて協議した。話題提供の候補者について検討した。ホームページに会員の研究グループ紹介欄を掲載することを承認した。

- ◇ 第3回常議員会（2月2日、名古屋大学）
見学会、市民フォーラム企画案を承認した。平成15年度定期総会次第及び総会に提案する平成15年度事業報告案、(中間)決算報告案、平成16年度事業計画案、予算案について協議した。平成16年度役員の変更案を承認した。今後の広報活動（ホームページの充実・会報の発行、メーリングリストの作成）の方針を決定した。講習会の企画案について意見交換をおこなった。賛助会員、公益会員、登録団体市民会員への入会勧誘について協議した。理事候補者の支部推薦について協議した。

- ◇ 第4回幹事会（2月2日、名古屋大学）
理事後者に支部候補者として、現松田仁樹理事を推薦することにした。

学会理事選挙には、支部推薦の松田仁樹さんに投票を！



廃棄物学会理事の選任に関する告示が行われて、立候補届・推薦届が1月31日～2月23日の期間に受理されることになっています。

2月2日に開催された東海・北陸支部常議員会・幹事会では、来期の学会理事に、現理事として活躍されている**松田仁樹**さん（名古屋大学教授）を推薦することになりました。もちろん学会役員選挙は会員の自由意志によって行われるものですが、東海・北陸支部の活動との太いパイプ役を担って頂けるかたを理事に推したいという共通の願いから松田仁樹さんを推薦することになりました。

【立候補にあたっての所信】

1. 会員の相互理解・尊重を基本として、わかりやすく存在感のある学会の企画・運営。
2. 環境問題解決への主導的な役割、責任を担う専門家のネットワーク作りと連携強化。
3. 環境教育への先導的な取り組み・参画による人材育成と社会貢献および国際貢献。
4. 本部・支部、支部相互間の密接な連携による学会活動の一層の活性化と効率化。

【プロフィール】

【現職】

名古屋大学難処理人工物研究センター教授

【最終学歴】

名古屋大学大学院 博士 課程 工学研究科
化学工学専攻 1978年修了（工学博士学位取得）

【現在の専門分野】

化学工学，環境工学，エネルギー工学

【現在の研究課題】

- 1) 環境負荷が少ない難処理安定人工物処理技術の開発
・非平衡プラズマによるハロゲン系 VOCs 無害化除去技術
・有機塩素化合物の湿式酸化技術
- 2) 排ガス浄化・回収成分の有効利用技術の開発
・カルシウム系廃棄物を用いた環境低負荷型排ガス浄化技術
- 3) 回収成分を利用した難処理安定人工物処理技術の開発
・重金属の化学置換による分離・回収・固定化技術

【ホームページ】

松田仁樹さんの研究教育活動、社会的活動については、<http://www.rescwe.nagoya-u.ac.jp/>をご覧ください。

〇〇〇〇〇〇〇〇 編集後記 〇〇〇〇〇〇〇〇

- ・廃棄物学会東海北陸支部の設立を機に、これまでの「連絡会会報」から「支部会報」に名称を改めることになりました。しかし、活動自体は連続していますので、ナンバーは通し番号として今回はNo. 4を数えます。
- ・5頁にも記しましたように、今後はホームページや電子メールが情報交換のメディアとなっていくと思いますが、会報は活字として確実に情報をお伝えする役割があり、やはり貴重です。
- ・差し込みのファックス通信用紙を用いて、行事への出欠のご返事をお待ちしています。(H. I.)

廃棄物学会 東海・北陸支部 会報 No. 4

平成16年2月12日発行

廃棄物学会 東海・北陸支部 事務局

〒464-8603 名古屋市千種区不老町

名古屋大学難処理人工物研究センター

伊藤 秀章

TEL 052-789-5854

FAX 052-789-5853

E-mail hitoh@rescwe.nagoya-u.ac.jp